

5月 生活目標 ◇きまりを守ろう

5月の生活目標は、「きまりを守ろう」です。4月のスタートから一月が経ち、子供たちの中に“慣れ”が見られる場面が増えてきました。もちろん良いことでもありますが、学校生活の中では「メリハリ」を大切にしていきたいと考えています。子供たちがきまりの意味を考え、行動につなげていけるよう指導に努めてまいります。

委員会活動がんばっています。

子供たちの委員会活動がスタートしました。全校児童が生活しやすいように、高学年が中心となって活動しています。

委員長等の役職に積極的に立候補する姿はさすがの一言。学校をより良くしていきたいという子供たちの思いを日々感じます。

6年生は学校のリーダーとして、5年生は初めての委員会にやる気十分！これからの活躍がとても楽しみです。

① 廊下・階段の疾走 ② 靴の履き方 指導中です。



① 「早く外に遊びに行きたい！」という気持ちが強いため、休み時間中の廊下・階段の疾走がなくなる現状です。きまりの理由について考えながら行動しようという指導を各場面で行ってはいるのですが…なかなか行動として浸透しない部分があります。もちろん、周りに気を付けて行動している子、危険な行動を注意しようとする子がほとんどです。そういった子の姿勢を褒め、励まし、全体に広めていきたいと考えています。

② かかとを踏んで靴を履いている子の姿がちらほら。「靴の神様からの手紙」として、下駄箱にメッセージを貼って指導しています。誰かに迷惑を掛けるものではありませんが、小学生のうちから当たり前の習慣として身につけていきます。



いじめはしない。させない。許さない。

いじめゼロの荒井小を目指して、人権・道徳教育を推進します。「いじめは絶対にあってはならない」という共通認識を一人一人のお子さんが持って、友達と関わることができるよう働き掛けていきます。嫌な思いをする人がいなくなる、無視をしたり仲間外れをしたりする雰囲気もなく、みんながいじめを許さない環境をつくる、このような目標達成のために何ができるかを子供たちと一緒に考え、行動へとつなげていきます。

また、別紙でもお伝えしました通り、5月は「いじめ防止『きずな』キャンペーン」を実施します。「**⑤**私たちは・**⑨**っと・**⑫**かま」の「きずな」を合言葉に、子供たちが安心・安全に学校生活を過ごすことができるような取組を重点的に講じてまいります。その中では、「いじめ防止きずな宣言」として、一人一人が守りたい目標を考えます。自分が決めた目標を節目ごとに振り返り、年間を通して自分自身を見つめ直しながら、相手意識を高めていけるよう指導してまいります。また、コロナウイルス感染・マスク着用の有無等に関して、憶測や偏見によるいじめや差別等の問題も懸念されます。決してそのようなことの起こらないよう、相手意識を大切にしながら、子供たち同士のより良い関係づくりをサポートしてまいります。

とはいえ、お子さんにとっては不安の多い時期かと思えます。お子さんの元気がない、普段と様子が違う等、些細なことでも構いませんので、ご心配なことがありましたら学校に相談していただければ幸いです。よろしくお願いたします。